



会報



DISTRICT 253
CLUB BULLETIN

月 見

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30 - 13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 5775

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

会 長 上 野 三 郎
幹 事 佐 藤 順 治

全人類を 結びつけるために 奉仕せよ

SERVE TO UNITE MANKIND

W. ジャック・デービス

1977~78 国際ロータリー会長

第 929 号 1977. 10. 18 (火) (はれ) No.16

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (手に手つないで)
3. ビジター・ゲスト紹介
4. 会 長 報 告
5. 幹 事 報 告
6. 情報について 情報委員会 石 黒 慶之助 君
7. 鹿児島市第五次親善訪問
使節団交歓について 安 藤 定 助 君
8. 青少年活動について 石 井 敬 三 君
9. 職業奉仕研究会報告 職業奉仕委員長 内 山 喜 一 君
10. 会員スピーチ
整形外科について 諸 橋 政 績 君
11. 出 席 報 告 出 席 委 員 会
12. 点 鐘

■ ビジター・ゲスト紹介

佐藤長蔵君(家具配布) — 酒田東R.C
栗本敏直君(家具販売) }
上野十九治君(空調設備) } 鶴岡西R.C
羽根田正吉君(建設)
原田行雄君 シニア(遠洋漁業)

52. 10. 18例会

■ 会長報告

1. 去る10月16日(日)山形市で地区主催の職業奉仕研究会が開かれ、当クラブから内山委員長、佐藤幹事、会長が出席した。
2. 10月16日(日)姉妹都市鹿児島市から24名の訪問親善使節団が早朝来鶴され、佐藤幹事が出迎えに加っていただいた。
同日夜、市長招待の歓迎会には会長代理として定藤定助君に出席していただいた。
3. かねて予定されていた交換学生の受入れが、今回オーストラリアから15才の男子生徒を明年1月からホストすることに決定した。準備に万全を期すため受入準備委員会をつくり次の15名の方々を委員に委嘱することを理事会で決定したので発表します。(敬称略)

(委員長)	迎	田	稔	三	井	徹
	佐	藤	忠	石	黒	慶之助
	諸	橋	政	高	橋	良士
	新	穂	光一郎	小	池	繁治
	菅		健	佐	藤	順治
	嶺	岸	光吉	上	野	三郎
	三	浦	悌三	鶴	商	学園高校担当教諭
	中	江	亮			

■ 幹事報告

1. 例会時間・場所変更
 - (1) 八幡R.C と き 10月29日(土) P.M 6:00
ところ 升田公民館
 - (2) 立川R.C
来る10月27日の当クラブ例会はとも煮会開催のため次の通り変更
と き 10月27日 P.M 6:00
ところ 草薙温泉 滝沢屋旅館 登録料 3,000円
2. 会報到着
 - (1) 東京R.C (2) 酒田R.C (3) 寒河江R.C (4) 塩釜R.C
 - (5) 朝日R.C
3. 飯坂R.C 創立20周年記念行事の案内

と き 昭和52年11月11日（金）
ところ 花水館（飯坂温泉）
登録料 会員 10,000円 家族 7,000円
その他登録申込は10月末日迄

■ 新潟R.Cへメーカーして

ロータリー情報委員会 石黒慶之助 君

去る10月4日（火）イタリヤ軒で開催の新潟R.C例会へメーカーしました。新潟R.Cは昭和15年の創立で、会員数120名、財団寄付3700%の先輩クラブである。会長は31代目、偶然にも私の先輩多和田泰一君（日本医科大学附属病院長）であり、互に健在を喜ぶ。

受付（S.A.A）で生年月日を聞かれ、何んのためかと不審に思ったら、今日は誕生日別の席だから、6月生れの方は3番のテーブルへと指示を受ける。例会の席は毎月会員が別々になるよう配慮しているとのこと。

新潟R.Cでは今まで100番目毎にビジターにラッキーバーナーを贈っており、本日13,300人目のビジターがいるとの発表があり、その幸福が私に当たりました。立派なバーナーをいただき感謝して1,000円のスマイルを行ったのですが、帰ってから山下君に話したら“バーナーは1,500円位かかりますよ”といわれ、“これは悪かったなあ”と頭をかいた。丁度、月初めの例会だったのでクラブの種々な行事があった。先づスマイル箱への集金方法の上手なものには驚く。（親睦委員会）会員・奥様の誕生祝は勿論、結婚記念日、職場の創立記念日、会員の入会記念日など数々のお慶びが披露される。お目出度の日は随分沢山あるものと感心する。

次に米山奨学金学生や交換学生への10月分給付金の授与。（国際奉仕委員会）学生を毎月1回例会へ参加させ会長から直接金子を手渡すことにしている。これは学生がクラブと親しくなる上手な方法ではないでしょうか。以上報告。

情報委員会では他R.Cへメーカーされた場合、そのクラブの優れたところ面白かったことなどお知らせ下さるよう期待しております。

■ 鹿児島市第五次親善訪問使節団交歓について

佐藤友吉 君
安藤定助 君

去る16日（日）6:37着日本海で遙々鹿児島より日高鹿児島市助役を団長とする一行24名が来訪され16日～17日の両日にわたり市の案内により城跡鶴岡公園、致道博物館、致道館、松ヶ岡開墾地、羽黒山（登山）山居倉庫、同資料館、南洲神社等見学され南洲翁を中心とする両市の道椽の契りを身を以て体験され、庄内の人心や優れた自然美又南洲翁に対する庄内人の尊敬の念や、初めて見たわわに糝るリング等に深い感銘を受けられ種々の思い出を胸に秘めて名残りを惜しみつつ本朝、特急いなほ一号で帰られました。

今回の一行は前例になく青年代表男子5名、女子5名を中心として市議員、鹿児島庄内会代表等24名で、内女子1名は鹿児島西ローターアクトクラブの代表で当ローターアクトクラブ会員との交歓も出来、又外の青年達も先に鹿児島を訪

問した当市青年代表等とも交歓し大変有意義な親善交歓でした。団長の日高鹿児島市助役並びに副団長の野津鹿児島庄内会長、ローターアクトの中島ひとみ嬢より特に会員皆様によろしくとのことで御座いました。

■ 青少年活動について

恵まれない生徒の為の合宿訓練活動計画表

10月22日（土）

- 14:30 到 着
- 14:45 はじめの集い（挨拶・会長・子供代表・所長）
- 15:00 班編成 係決定 入室
- 15:30 キャンプファイヤー準備
- 16:00 係 会
- 16:30 班 会
- 17:00 タベの集い（各団体顔合わせ、子供代表挨拶）
- 17:15 タ 食
- 18:30 キャンプファイヤー（歌をうたうこと、雨天の場合キャンドルサービス）
- 20:00 天体観測（雨天の場合入浴）
- 21:30 就 寝

10月23日（日）

- 6:30 起床 清掃
- 7:00 朝のつどい（団体毎自由 健康観察）
- 7:30 朝 食
- 9:00 炊 飯 活 動
- 11:00 昼 食
- 11:45 あとしまつ
- 12:55 あとしまつ完了
- 13:00 追跡ハイキング（Cコース）
- 14:45 終りのつどい
- 15:00 出 発

■ 職業奉仕研究会経過報告

職業奉仕委員長 内山喜一君

去る16日第253地区職業奉仕研究会山形県の部が山形市ホテル大沼で開催されました。参加者80名集り、当クラブから早坂バストガバナー、上野会長、佐藤幹事、私と4名で参りました。

定刻11時、村上七五三夫氏（酒田東）の司会で開会、リーダー地区委員伊藤春夫氏（酒田東）の挨拶、次いでアドバイザー早坂地区委員長の挨拶と「ロータリー道徳律」の解説及び所感があり、更に研究会のテーマ「ロータリー道徳律と現代経済生活との関連について」の主旨説明があり、質疑応答に入りました。

予想通り第6項に質疑が殺到しました。その主なものを掲げますと

- ① 道徳律の字句は全般的に難解である。

- ② 第6項の主旨は判るが現実の問題としては、現代経済社会に矛盾する。
③ 第6項の主旨をそのまま素直に理解しても、どうも建前と本音の感を深くする。

等々、その他質問及び問題提起が陸続としてありました。なかでも、米沢クラブの大峽正氏の「道徳律」スピーチ要旨は、平易な文体と、文意の理解し易い文章の運び方は大変参考になるものと感銘を深く致しました。何れにしても、この「ロータリー道徳律」は既に過般の国際ロータリー年次大会規定審議会に於て採択されたものであり、字句の理解、理想と現実の相違点又、矛盾は将来の研究課題として一応これが採択決議に賛意を表するものであるとの結論を得ました。

次に大型スーパー進出に係る県下の進出大企業と地元中小企業者との角逐の問題、これも将来の課題となりましょう。

尚、酒田市復興促進の一助として発足した、鶴岡・酒田両市の電気工事業者の共同発案になる「庄内電設協同企業体」の創立は新しい時代にふさわしい事業体の一つの形態として活目に値するものと云えましょう。

次に近年の不況、構造不況とか云われておりますが、この不況を如何にして乗り切るか、ロータリアン相互のために「不況対策委員会」設置如何との提案がありました。これに対し、早坂アドバイザーから次のご指導がありました。ロータリー手続要覧35P「ロータリアンに対する事業上の援助と助言」この2項目、これも将来の課題となりましょう。以上研究会の経過の概要を申し上げましてご報告と致します。

■ 会員スピーチ

<整形外科のことなど>

諸橋政横君

整形外科とは字の通り、形を整えるという科で、その歴史はヒポクラテスが始祖といわれている。曲った木のわきに杭を立て、縄でゆわえてこの木を真直にのばそうとしている図がどの教科書にも載っているが、これが整形外科の理念である。16世紀には関節の拘縮や骨折の整復など、18世紀にいたってこの科が専門的に独立してくるようになった。第2次大戦後は、日本の整形外科は米国の影響を強く受け、手術がとくに盛んとなった。たとえばここにお見せするX線写真のように股の関節を器械で入れかえてしまうということも盛んに行なわれている。

しかし整形外科本来の姿は、できるだけ手術をしないで治療するというところで、手術を行なうにしても悪いところをとってしまうというのは少なく、何とか残ったところを利用して機能を代償したり働きをもどしてゆくという目的のために行なわれる。それは人間の生きる力、体の不都合を自分の力でなおし修正してゆくという偉大な能力をよく知り、医者はそれを手伝う、もしまちがった方向に修復の道が進めばその道しるべとなり、軌道を修正してゆくというのが本来の態度であるという基本的な考えにもとづいていることであって、医者が病気をなおす、というのではないということを常々考えていなければならないと自戒している。

私が専門としているのは手の外科というものであるが、この中でもさらに近頃新聞などを賑わしているものに、切断した手を血管を縫って接ぐというのがある。この手術は数人がかりで10時間前後かかるものだが、その際使用する縫合針

つき糸は70ミクロンの太さで、皆さんにお返しして御覧いただいているのがそれである。これを16倍から24倍の顕微鏡の下で直径0.5mmから1mmの血管に8～10か所ていねいに縫ってゆくお針子のような仕事である。すべて世の中が省力化し、機械化し、医学の面でも診断や治療にコンピューターなどが盛んに導入されている近頃、こうした時間をかけた手縫いの手術は一見時代逆行を思わせる。しかし、それができるような下地と準備を作ってくれたのはやはり器械などの進歩であるということ忘れてはならない。

昭和50年の3月に横綱の輪島が私のところに10日程入院したが、彼はたいしたことではなく、当時精神的に参っていたというのが最大の原因で、先刻申しあげたように、関取は自分で体をなおすべきで、私はそれを見まもっていてやるだけだということを、はじめから彼に話をし接していた。注射1本うったわけではなく、静かに電気でもかけて腰をあたためたり、湯田川の温泉にゆったりした。東京あたりからファンが夜行で来たというのに、ゴロンと横になって対応している態度に説教して、坐らせたりした。たんだん気を取りなおして元気になって来たので即仏身のミイラをみせにやった。これが彼には精神的には大きなショックとなったようで、自分のこれまでの甘えた態度に活を入れたようであり、その後たちなおってくれた。

その後優勝したときもすぐ電話をくれ、そっと暖かく自分をむかえてくださった鶴岡の方々の御気持のおかげだと、あの頃は忘れられないと心から感謝していることを伝えて下さいと云っておった。

■ 出席報告

本日の出席	会 員 数	70名	欠席者	皆川君、阿部(公)君、早坂(徳)君、石川君、市川君、板垣(俊)君、玉城君、黒谷君、石倉君、小池君、高橋(耕)君、小松君、森田君、斎藤(栄)君、斎藤(得)君、佐藤(忠)君、佐藤(衛)君、佐藤(正)君、丹下君、藪田君、金沢君
	出 席 数	49名		
	出 席 率	70.00%		

前回の出席	前回出席率	84.29%	メイクアップ	中江君一酒田R.C 笹原君一仙台R.C 五十嵐(三)一温海R.C 阿部(公)君、黒谷君、佐藤(順)君、鈴木(弥)君、金沢君一鶴岡西R.C
	修正出席数	67名		
	確定出席率	95.71%		